

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 5日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 Rise

|          |                                    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点                                 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標   |
|----------|------------------------------------|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備  | 1                                  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 7  | 1   |   |  |
|          | 2                                  | 職員の配置数は適切である   | 6  | 2   |   | 誰かが休んだり、急な予定が入ったり子どもにイレギュラーな事が起こると業務が厳しい。職員個々のスキルを上げ、さらに良い支援の提供に努めたい。      |
|          | 3                                  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 7  | 1   | 入口にわずかな段差があるが室内はほとんどバリアフリーである。          |  |
| 業務改善     | 4                                  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | 3  | 5   |   | PDは良いと思うがCAも深く出来るともっと良い。職員によって出来る仕事に差があるため仕事をローテーションで回す。                   |
|          | 5                                  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 8  | 0   |   |  |
|          | 6                                  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 6  | 2   |   |  |
|          | 7                                  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             | 2  | 6   |   |  |
|          | 8                                  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 6  | 2   |   | 研修のお知らせ等を適宜共有し、参加を促すことで工夫していきたい。   |
| 適切な支援の提供 | 9                                  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5  | 3   |   |  |
|          | 10                                 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                 | 3  | 5   | 個々に目標を定めたり、支援ツールを用意したりして個別化に力を入れている。    |  |
|          | 11                                 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | 8  | 0   |   |  |
|          | 12                                 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | 8  | 0   | 日替わりでプログラムを実施し、多くの経験をどの子にもしてもらえようとしている。 |  |
|          | 13                                 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | 7  | 1   |   |  |
|          | 14                                 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | 8  | 0   |   |  |
|          | 15                                 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している             | 8  | 0   | 朝と昼と分けてミーティングを実施。                       |  |
|          | 16                                 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している        | 1  | 7   | 的確に共有する為の書類は完成している。                     | その日のうちに振り返る体制が整っていない為、記録を取る事を重要視している。記録をもとに振り返る時間を確保していけるように業務体制の見直しを図りたい。 |
|          | 17                                 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                    | 8  | 0   |   |  |
|          | 18                                 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                  | 7  | 1   |   |  |
| 19       | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 5  | 3  |     |   |  |

|              |    |   |   |   |                              |   |
|--------------|----|---|---|---|------------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | 7 | 1 |                              |   |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | 1 | 必要に応じて先生との連携を取っている。          | 必要性を感じた時に留まっている為、定期的に情報共有をする体制等を整えたい。                         |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             | 3 | 5 | 該当する児童がいない。                  |   |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | 6 | 2 |                              |   |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | 3 | 5 |                              |   |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | 6 | 2 |                              | 実施しているが、子どもの支援をより良いものにするためにもっと頻繁に連携を取るようにしたい。                 |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 | 3 | 5 | 公園に出た際にそういった機会を設けるように意識している。 | 機会の確保が、職員や保護者の方にとってまだまだ実感の少ない様子がある為、そういった場面を増やし、意識的に活動していきたい。 |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   | 5 | 3 |                              |   |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | 7 | 1 |                              |   |
| 保護者への説明責任等   | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       | 5 | 3 |                              | 保護者会を実地し始めたので今後改善に向けていきたい。                                    |
|              | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                      | 6 | 2 |                              |   |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | 7 | 1 |                              |   |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                          | 6 | 2 | コロナの心配がなくなってきた為、保護者会を実施。     | 今後も定期的の実施をし、保護者の方との交流の場を増やしていく方針。                             |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している    | 7 | 1 |                              |   |
|              | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                      | 7 | 1 | 毎月のお便り、LINE配信で保護者の方にお伝えしている。 |   |
|              | 35 | 個人情報に十分注意している   | 6 | 2 |                              |   |
|              | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                  | 7 | 1 |                              |   |
|              | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている                                    | 1 | 7 |                              | コロナの心配がなくなってきたので、今後活性化したい。                                    |

|         |    |  |   |   |                                       |   |
|---------|----|--|---|---|---------------------------------------|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 3 | 5 | 契約時に丁寧な説明をしている。                       | より見やすく、わかりやすい形でマニュアルの整備をして、振り返り等がしやすいようにしていく方針。 |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 8 | 0 | 毎月1回は実施している。                          |   |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 5 | 3 |                                       | 虐待防止の研修等を実施。もっと機会が増えていくようにしていきたい。               |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | 2 |                                       |   |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 6 | 2 |                                       | アレルギーへの配慮はしているが医師の指示書はない。                       |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 7 | 1 | 月に1件でも多く作成し共有していくことで大きな事故を防ぐように努めている。 |   |